

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 3月 1日

事業所名 スタジオそら用賀

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	4	3	同時刻の子どもの療育内容を工夫して、活動スペースが確保できるようにしている	引き続き、安全面や活動内容に配慮して行なっていく
	② 職員の配置数は適切であるか	5	2		他スタジオや本社と連絡をとっていく
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	3	視覚補助の活用や、スタジオ内の構造化に努めている	建物の構造上、バリアフリー化は難しい。引き続き、子どもの特性に合わせた支援を行なう
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	5	2	日々清掃等でチェックしている	各自でチェックするとともに、ミーティング等で全体でも共有を行なう
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	7	0	毎月目標設定を行なっている	毎月の目標設定とその振り返りを職員全体で共有する
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	7	0		保護者のニーズを把握し、改善を行なっていく
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		保護者待合室に掲示するとともにHP上で公表予定
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		行っていない。今後の検討課題とする
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	社内研修を行なっている	社内研修の内容を全体で共有し、現場に活かしていく
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	アセスメントに関する研修を行なっている	より正確に子どもの状態増を把握できるよう努めていく
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	ASQ3を導入している	アセスメントツールの実施環境をさらに整えていく
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1	本人支援を主としている	引き続き、課題の分析とニーズの把握を行なって支援目標を設定していく
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	毎回ミーティングを行なっている	専門性を高め、よりよい支援の充実をおこなっていく
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	毎回ミーティングを行なっている	専門性を高め、よりよい支援の充実をおこなっていく
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2	毎回ミーティングを行なっている	専門性を高め、よりよい支援の充実をおこなっていく
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	必要に応じてスタジオ個別とあおぞら療育の併用をすすめる	小集団(あおぞら療育)での活動内容をより充実させていく
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	毎回ミーティングを行なっている	専門性を高め、よりよい支援の充実をおこなっていく
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	毎回ミーティングを行なっている	業務日誌やサービス提供記録を活用し、情報の抜けがないよう共有を行なう
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	業務日誌、サービス提供記録にて記録をつけている	業務日誌やサービス提供記録を活用し、情報の抜けがないよう共有を行なう
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	定期的に行なっている	毎月モニタリングを行なっていく	
㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	チーフが参加している	会員の地域として、電話での聞き取りが多いため、よく担当している療育士で対応している	
㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	5	該当児がいない	必要に応じて連携を取っていく	

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	5	該当児がいない	必要に応じて連携を取っていく
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	4	該当児がいない	必要に応じて連携を取っていく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	4	該当児がいない	必要に応じて連携を取っていく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	該当児がいない	必要に応じて連携を取っていく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	該当児がいない	必要に応じて連携を取っていく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	6		現在のところ機会がない。需要があれば今後検討していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	3	3	管理者/チーフが参加している	現場スタッフでもできるように調整する
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	毎回フィードバックを行なっている	フィードバックの時間以外でも、時間やプライバシーに配慮して面談等行なえるよう努めていく
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	4	3	フィードバックの際に相談を受けたり、助言を行なっている	ペアレントトレーニングは行なっていない。必要に応じて、適切な助言ができるよう研修を行なっていく
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時・変更があった際に行なっている
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0		概ね説明し同意を得ているが、定期的に職員全体で共有し、全職員が説明出来るよう努めていく
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	随時フィードバックの際に行なっている	職員によってばらつきがある為、研修を行なうなどして全職員が対応できるよう努めていく
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		保護者会等は行なっていない。需要があれば、今後開催を検討する
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	相談があった場合は、迅速に情報共有を行ない対応について検討している	引き続き、迅速かつ適切に対応できるよう努めていく
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	HPにてそら通信の更新を行なっている	毎月の請求送付物にそら通信のお知らせを同封している。職員もHPの更新記事をチェックし、内容の把握を行なう
38		個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	鍵付きの書庫で管理している	営業時間内の事務室内の書類の整理整頓を徹底する
39		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	特性を把握し、情報共有して行なっている	フィードバックの時間以外でも保護者と密に連携が取れるよう、積極的にコミュニケーションをとっていく
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	イベントの際、地域のスーパーへ買い物に行く等の活動を行なっている	今後、地域参加も意識したイベント活動を検討する
非常時の対応		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	マニュアルの策定・訓練の実施を行なっている
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	マニュアルの策定・訓練の実施を行なっている	内容について保護者に周知し、訓練への参加を呼び掛けていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	7	0	事前に情報共有を行なっている	随時コミュニケーションを取り、状況の変化にも対応していく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	食物を扱うイベント実施の際は、事前に保護者に確認を取っている	引き続き、細心の注意を払っていく

応	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	終礼の際に全体で共有し、報告書の作成を行なっている	定期的に事例検討などの研修を行い、安全管理を徹底していく
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	研修を実施している	定期的に事例検討などの研修を行い、虐待防止を徹底していく
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	契約時にやむを得ず身体拘束を行なう場合について説明を行なっている	定期的に事例検討などの研修を行い、適切に対応できるよう努めていく

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。